

# 奥久慈しやもの低コスト生産技術確立試験 発育優良系統の利用による検討

須藤正巳<sup>\*1</sup>・御幡 寿

## 要 約

奥久慈しやもの現在の肉質を維持しながら低コスト生産技術を確立するため、発育優良系統を利用し肥育期間短縮による検討を行なった。

### 1. 体重

有意差は認められなかつたが常にTK（熊本ロード交雑）が、TL（茨城ロード交雑）より大きかつた。

### 2. 飼料消費量

体重の結果と同様に、有意差は認められなかつたが常にTK（熊本ロード交雑）が、TL（茨城ロード交雑）より多かつた。

### 3. 産卵率

産卵開始初期では、TK（熊本ロード交雑）が優れていたが、その後はTL（茨城ロード交雑）が優れていた。

キーワード：特殊鶏、奥久慈しやも、低コスト生産、肉質

## 緒 言

「奥久慈しやも」は、年間3万羽以上が出荷され、茨城県の銘柄鶏肉としてその品質は高く評価されている。しかし、銘柄鶏肉は近年全国各地で作出され、産地間競争が激しくなってきている。こうした状況の中、生産現場からは現在の肉質を維持しながら低コスト生産技術を確立して欲しいとの要望がある。平成11～12年度においては、現地で安価に入手できる「くず米」<sup>1),3)</sup>と新たな低成本飼料として「乾燥おから」<sup>2),3)</sup>に注目し、慣用飼料に添加することによる飼料費節減について検討を行なった。平成13～14年度は母系種に発育優良系統を交配利用して、肥育期間を短縮することによる生産コスト削減について検討を行なった。平成13年度は、種鶏段階（F1母鶏）の検討を行なった。

## 材料及び方法

### 1. 供試鶏

(名古屋種(雄)×茨城L系ロードアイランド

レッド(雌)},{略号TL 45羽

{名古屋種(雄)×熊本K系ロードアイランド  
レッド(雌)},{略号TK 45羽

### 2. 試験鶏舎

28日齢まで 電熱式立体育すう機

29日齢以降 開放鶏舎、2段ケージ飼育

120日齢以降 成鶏用開放鶏舎、2段ケージ飼育

### 3. 試験期間

平成13年6月6日(29日齢)から平成14年1月30日まで。以降も継続調査中

### 4. 供試飼料

#### (1) 試験前

餌付けから28日齢まで市販育雛前期用飼料  
(ME2,900kcal/kg以上, CP20%以上)

#### (2) 試験期間

29日齢から70日齢まで市販育雛中期用飼料  
(ME2,800kcal/kg以上, CP17%以上)

71日齢から120日齢まで市販育雛後期用飼料  
(ME2,750kcal/kg以上, CP15%以上)

121日齢から市販成鶏期用飼料(ME2,850kcal/kg以上, CP17%以上)を不斷給餌した。

\*1 現 茨城県農林水産部畜産課

## 5. 調査項目及び調査方法

### (1) 体重

体重測定は、28日齢から2週毎に20羽を測定した。

### (2) 飼料消費量

飼料消費量は、各試験区毎に毎週残飼量を測定し、給与飼料量から差し引いた値を飼料消費量とした。

飼料要求率は、飼料消費量／体重とした。

### (3) 産卵率

産卵率は、毎日調査した。

## 結 果

### 1. 体重(図1)

有意差は認められなかったが常にTK(熊本ロード)が、TL(茨城ロード)より大きかった。

### 2. 飼料消費量(図2)

体重の結果と同様に、有意差は認められなかったが常にTK(熊本ロード)が、TL(茨城ロード)より多かった。

### 3. 産卵率(図3)

産卵開始初期では、TK(熊本ロード)が優れていたが、その後はTL(茨城ロード)が優れていた。

## 考 察

体重では、常にTK(熊本ロード)が、TL(茨城ロード)より大きく推移し、発育優良な系統であることが確認できた。しかし、産卵率がTL(茨城ロード)より劣るので、TK(熊本ロード)を種鶏(F1母鶏)として考えた場合の経済性等についての検討が必要と思われる。コマーシャル段階での発育・肉質についても重要な要因と考えられ、これらについては、平成14年度に実施予定である。

## 引用文献

- 須藤正巳・藏本博久・磯政男：(2000) 奥久慈しやもの低コスト生産技術確立試験(くず米添加による検討), 茨鷄試研報, 34: 8-18
- 須藤正巳・藏本博久・磯政男：(2001) 奥久慈しやもの低コスト生産技術確立試験(1)乾燥おから添加による検討, 茨畜セ研報, 31: 51-58
- 須藤正巳・御幡寿：(2001) 奥久慈しやもの低コスト生産技術確立試験(2)くず米、乾燥おからの混合添加による検討, 茨畜セ研報, 31: 59-66

図1 体重の推移

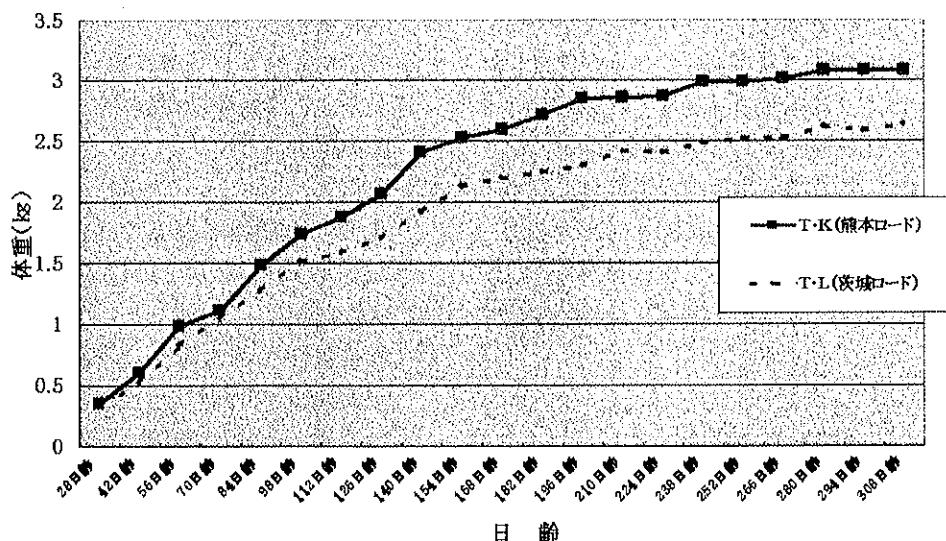


図2 飼料消費量

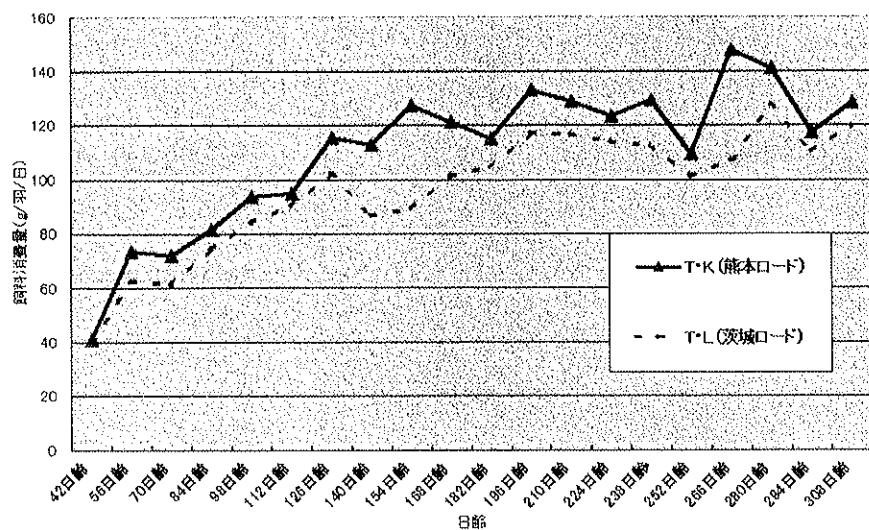


図3 平13 T・L T・K産卵率

